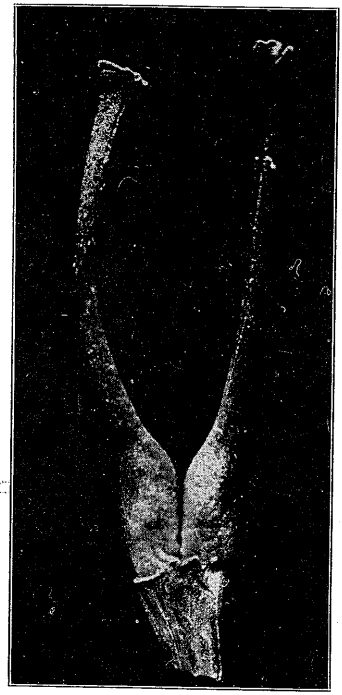
○さくらニ現ハル、双生ノ雌蕊

久内清孝



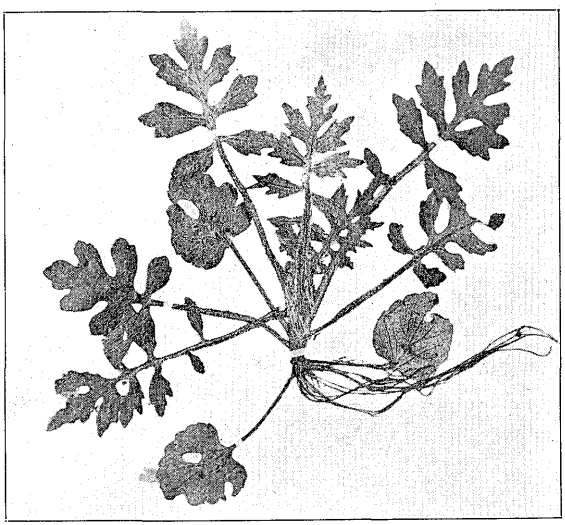
いばら科ニハ雌蕊一個ノモノト多數ノモノトガアルガ中等教科書ナドデハ少數ノ著者ノ外雌蕊一個ノモノ丈ヲ指摘シテ居ル、コレハさくらヲ標準ニシタ場合ニハヨイガ後カラ苺ガ出テ來ルト困ルカラ初歩ノ本ニハ一又ハ多數トシタ方ガ便利デアリ且ツ親切デアル

處デコレハ神奈川縣横濱ノ德永家次君カラ得タ例デアルガさくらニモ寫眞ノ通リ二個ノ雌蕊ノ場合モアル、コノ場合各子房ニハ各一個ノ卵子ヲ包藏スルノミデアルカラ二個ノ雌蕊ノ癒合シタモノデハナク寧ロ一個ノモノガ縦斷サレテ二個ノ様ニナッタモノデアル故其狀普賢象ヤ白普賢ノ雌蕊ニ相似シタヽ形態丈ガ雌蕊ノ觀ヲ呈シテ居ル丈デアル若シコノ花ガ結實シタラ恐ラク各個共發育スルデアラウ若シ其様ニナレバ普通ノ場合不發育ニ終ル二個中ノ一個ガ發育スル場合ト同一結果ニナルガ其點ハ今斷言スルコトハ出來ナイ即チ此場合ニ於テ豫斷ハヨロシクナイノミナラズ不可能デアルカラデアル尚種類ハヨク判ラナイガ要スルニやへざくらト總稱スベキモノヽ一デ「絲括」ナド云フベキ一群ノモノデアル如何ニモお面黑イ奴デアル

○子葉ノかたち

久内清孝

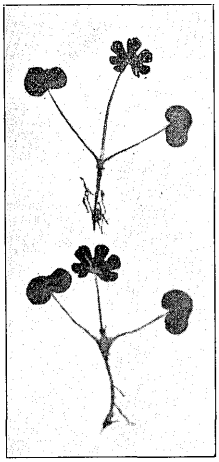
【牧野云フ】ならやへざくらノ花ニハ子房ガ通常二ツアルコト既ニ知ラレテ居ル事實デアル其レ故花後ニ双頭狀ノ實ガ生ル、此子房ガ一花ノ中ニ數個生ジタラ彼ノ座論梅ノ様ナモノガ出來ル



第一圖
さはぎく (Senecio nikoensis Maxim.)

子葉ヤ根出葉ニハ時々成葉ニ比シ思ヒガケモナイ形狀ノモノガ多イコトハ自然ニ親シム人士ノ時々目睹スル所デアラウ

コヽニ掲ゲタノモ（第一圖）ハ別ニ珍シイ譯デハナイガさはぎくデアル、花期ノさはぎくトハ甚ダシク形狀ヲ異ニシタ根生葉ヲ有ッテ居ルト云フ丈ノ點デ寫眞ヲ寫シテ見タモノデアル若シ根生葉ダケ見セラレタラ一寸判斷ニ苦ムコトモアラウ、コノ根生葉ハ恐ラク祖先ノ葉形ヲ現



第二圖
げんのしょうこ (Geranium nepalense Sweet.)

セリハノタハヌハアデモシ